

令和2年度記者懇談会 本部長冒頭発言

○八管本部長の江口です。

○本日は、2月27日以来の。今年度初の記者懇談会の開催となりました。

○先月は、コロナウイルス関係でネット配信という特異な形態となり失礼しましたが、本日は、このあと、本部の今年度着任者からご挨拶申し上げるのに合わせ、保安学校からも学校長以下着任された幹部に参加頂き、ご挨拶を申し上げます。宜しくお願いします。

○さて、政府の緊急事態宣言も今週月曜日に全面解除され、八管区本部は、これまで職員を半舷体制、例えば私と次長は交代で出勤する等の特別体制を敷いておりましたが、今週から通常体制に復帰しております。また緊急事態宣言が全面解除された翌火曜日には管下全海上保安部、海上保安署、航空基地とネットで結び、現在の各エリアの地域情報の共有と、今後の業務推進にあたっての課題・対策等を議論しました。

○各部署とも、感染予防の観点から、窓口業務ではシールドを設ける等の工夫するほか、申請事務のオンライン化推進、安全講習のデータ送付による実施、施設安全確認のウェブカメラによる遠隔実施等のデジタルシフトを推進しましたが、一方で、県境を越えた広域移動制限から、捜査活動・情報活動等に相当の制約がありました。これも順次解消している状況にあります。

また、正面業務ではありませんが、職員募集活動について、学校訪問、説明会等の開催ができなかったことから活動に様々な支障が生じてきました。お配りした資料の中に

も学生募集関係の資料を入れておりますが、今年度は、海上保安庁組織を挙げてリクルートに取り組んでおり、八管区にも専従の係を新設するなどしており今後活動を活性化させる所存です。。

そうしたことも含め八管区全体として通常体制での業務執行に向けキックオフしておりますので宜しくお願いします。

○今後の課題としては、間もなく梅雨入りし、やがて台風シーズンもやってきますが、コロナウイルスの第二波、第三波も予想されますので、感染対策も念頭に各種災害対策準備を進めているところです。

○2点目としては、国際的にも、また、国内でも関東圏では既に検討が具体化していますが、海水浴所での事故対策そして感染対策があります。管区内の海水浴場でもライフセーバーの活動制限で監視員が確保できない見込みの海水浴場があるほか、学校教育のひっ迫で水難事故対策の啓発も不十分となることが懸念されるので、安全対策を強化することとしております。

○いずれにしても、各自治体、関係機関、そしてメディアの皆様と十分連携しお力をお借りしながら、ウイズコロナに順応して各種施策を進めたいと思っておりますので宜しくお願いします。